

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 家庭教育支援事業の取組事例

「家庭教育ゼミナール」（遠野市）

取組の概要や経緯

児童・生徒・保護者等を対象に、様々な課題に応じた学習機会を提供し、子どもたちの健全育成や家庭・地域の教育力の向上を図り、子どもたちの学習環境の充実と家庭教育力の向上に取り組んでいる。

内容

小・中学校等と連携し、学校や地域の課題に応じた講演会や研修会を実施し、子どもたちの健全育成や家庭教育力の向上のための学びの場を提供する。

＜平成29年度の実施状況＞

- 遠野小学校：ことばの力～いじめ・過去・未来～
- 遠野北小学校：情報モラル学習
- 綾織小学校：幼少期のスポーツと子育て
- 小友小学校：幼児期から思春期までを見通した子育て支援
- 附馬牛小学校：日本・中国 二つの故郷を歌う
- 土淵小学校：地域・家庭でできる防災・減災について
- 青笹小学校：子どもの姿勢と健康
- 上郷小学校：よい眠りで心も体も健康に
- 宮守小学校：スマホ・ケータイ安全教室
- 達曽部小学校：スマホを安心安全に使うために
- 鱒沢小学校：携帯電話トラブル防止のための防犯教室
- 遠野中学校：情報モラル学習
- 遠野東中学校：地域で子どもを育てるために
- 遠野西中学校：中総体で勝つために



土淵小学校での防災教室



児童・保護者・教職員・
地域関係者が出席した
上郷小学校での講演会

ポイント

- ①遠野市内、全ての小中学校で実施し、各学校・地域の課題に応じた学習・研修の場を提供している。
- ②各小中学校がテーマを設定することにより、多様な学習内容が提供され、家庭教育力の向上につながっている。

成果

- 各学校・地域の課題に応じた学習機会を提供することで、保護者等に家庭教育の重要性について意識づけることができた。
- 児童と保護者が一緒に聴講する講演会もあり、共に学習することで、家庭での共通の話題となり、現状や課題に対する共通認識を持つこと、家庭教育の充実につなげることができた。

今後の方向性

核家族化が進み、家庭教育力の低下が課題となっている現状を鑑み、本事業を継続して実施し、家庭教育力の底上げに取り組んで行く。